

暑中 お見舞い 申し上げます。

「暑い夏を お元気で過ごして下さい」と 連日ハカキが届きます。セミたちの声が 夏であることを（かつての夏と今年とを結びつけてくれるように）実感させてくれます。

「先生は麺類がお好きでしょうか・・・」とお知り合いから そうめんが届きました。

ビールギフトセット や冷酒がよく合う日本酒、ゼリー・・・と、業社の方からも いろいろといただきました。

そういう しきたりが どうなのかは、さておき、相手がよることでくれるものをどの思いから 届けて下さるのでしょう。

昔から 変わらず、ありがたいことです。

私が子どもだった頃は、今よりもみんな食えて、親は質屋に物を入れたりして子どもを育ててくれた時代でしたが、それでも、ことによると、それだからこそかもしれません、いつでも「分かれ合い」が生活の場面にありました。

テレビや電話がない家は、ある家にお世話になったり、ナスビやきゅうりが沢山採れたとっては おすそ分け、「みんな おやつだよー」と呼びあつめられたら、揚げたパンのみみやカルメ焼がいただけました。

これまでに たくさんのものをいただいて 遇ってきたのだと思います。そのものは、物ばかりでなく、言葉であり 思いであり、季節感であり 気分であり、時代衝動であり・・・と、形のあるものとは限らず、そこから人情や人の世のゆたかさや確かさを感じさせてもらったり、憧れや願いや夢へとつながる心の中のたくさんの芽のようなものを育ててもらった気がします。

・・・そうして私は今年の夏に生き、この夏を生きています。ささやかなものであっても、私も誰かに、何ものかに、何か大切なものを届けられますように！と、深呼吸しました。

夏は、人が自然に溶け込み、自然に夢見、そして人と人とは心を交わらせてあらためて大切な何ごとかを共有していくにははとびきり ぴったりの季節かもしれません。

よき夏を どうぞ 元気で過ごして下さい！

園長 升光 泰雄